

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	中書島事務所増築工事	階数	地上3F
建設地	京都市伏見区桃山町金井戸島11-11、12-9、12-13、11-12、10-2、2-3	構造	S造
用途地域	工業地域、町並み型建造物修景地区、準防火地域	平均居住人員	40 人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,380 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年11月 予定	評価の実施日	2019年10月2日
敷地面積	5,095.84 m ²	作成者	嶋村 邦彦
建築面積	738.45 m ²	確認日	2019年10月3日
延床面積	2,183.25 m ²	確認者	嶋村 邦彦



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂温暖化影響チャート

標準計算

①参照値 100% (kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 82%

③上記+②以外の 81%

④上記+ 81%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.0

音環境	3.4
温熱環境	2.3
光・視環境	2.6
空気環境	4.0

Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.1

機能性	3.2
耐用性	2.9
対応性	3.1

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.1

生物環境	1.0
まちなみ	3.0
地域性・	2.0

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.7

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	3.6
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.4

水資源	3.0
非再生材料の	3.7
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境 LR3のスコア=3.0

地球温暖化	3.7
地域環境	2.4
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項		その他
総合		
Q1 室内環境	内装材全てにF☆☆☆☆	Q3 室外環境(敷地内) 特に無し
Q2 サービス性能	1人当たりの執務スペースが12㎡以上	
LR1 エネルギー	太陽光パネルの設置	LR3 敷地外環境 広告物照明なし
LR2 資源・マテリアル	LGS OAフロア	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される